

科目ナンバー： BC3133

授業コード： 2230301300

講義科目名称： 地域・在宅看護論演習

英文科目名称： Practice in Community & Home Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員			
◎関睦美、久保野裕子、佐藤さゆり			
添付ファイル			

授業種類	【開講】	【授業時間】		
	前期	30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎関 睦美	新潟県立看護大学	301	museki@niigata-cn.ac
	久保野 裕子	新潟県立看護大学	共同研究室2	kubono@niigata-cn.ac.jp
	佐藤 さゆり	新潟県立看護大学	共同研究室2	sayusato@niigata-cn.ac.jp
	実務経験のある教員が担当します。			
	【本学の科目区分】			
	専門科目			
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】				
看護師課程・保健師課程				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】				
○ ◎ ○				

到達目標	1. 在宅療養者と家族の生活および健康状態を情報把握枠組みを用いてアセスメントし、生活課題を明確にしたうえで、根拠に基づいた看護計画を立案できる。 2. 在宅療養者のセルフケア能力および家族の介護力を踏まえ、日常生活援助に関する支援計画を立案できる。 3. 在宅療養において必要な医療処置技術およびリスクマネジメントを理解し、安全な療養環境を維持するための看護実践および家族支援について説明できる。 4. 終末期にある在宅療養者と家族の特徴を理解し、その尊厳を尊重した看護支援について考察できる。			
授業概要	在宅療養者と家族、および地域の特性を理解するための情報収集および情報把握枠組みを学び、生活課題を支援するための日常生活援助技術、医療上の課題に対応するための医療処置技術、在宅療養におけるリスクマネジメント、およびターミナルケアに必要な看護実践について学ぶ。			
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学習課題：訪問看護の基本と訪問時のマナー 学習内容：訪問時のマナー 事前学修：教科書や資料を用いて、「訪問看護の目的」「訪問看護師の役割」「在宅療養者と家族の生活の特徴」について復習しておく 事後学修：授業で学んだ内容をふまえ、訪問時のマナーが療養者・家族との信頼関係づくりにどのようにつながるかを自分の言葉でまとめる。 備考：関		
	2	授業内容 授業形態：講義、グループワーク 学習課題：看護過程の展開と情報把握枠組み 学習内容：地域・在宅看護論での看護過程の特徴、看護過程を展開するための情報把握枠組みの活用方法 事前学修：在宅看護での情報収集において、どのような視点（生活環境・家族構成・社会資源など）が重要になるかを復習し考えておく。 事後学修：次のグループワーク（看護計画立案）に向けて、事例の要点を自分なりにまとめ、グループで共有できるように準備する。 備考：関		
	3	授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：事例の看護計画立案① 学習内容：看護計画立案 事前学修：グループワーク（看護計画立案）に向けて、事例の要点を自分なりにまとめ、グループで共有できるように準備する。 事後学修：グループワークで話し合った内容を整理し、アセスメントや看護計画立案の根拠について自分の考えをまとめる。 備考：関、久保野、佐藤		
	4	授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：事例の看護計画立案②		

5	学習内容：看護計画立案 事前学修：グループワークで話し合った内容を整理し、アセスメントや看護計画立案の根拠について自分の考えをまとめておく。 事後学修：グループワークで話し合った内容を整理し、アセスメントや看護計画立案、優先順位の根拠について自分の考えをまとめる。 備考：関、久保野、佐藤 授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：事例の看護計画立案③ 学習内容：看護計画立案 事前学修：グループワークで話し合った内容を整理し、アセスメントや看護計画立案、優先順位の根拠について自分の考えをまとめておく。 事後学修：グループワークで話し合った内容を整理し、分担された資料を作成し発表準備を行う。 備考：関、久保野、佐藤
6	授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：事例の看護計画立案④ 学習内容：看護計画立案の発表 事前学修：グループワークで話し合った内容を整理し、分担された資料を作成し発表準備を行っておく。 事後学修：相互評価を通して得た学びを整理し、自グループの看護計画立案の強みと課題を明確にする。 備考：関、久保野、佐藤
7	授業内容 学習形態：講義、個人ワーク 学習課題：日常生活援助のケア計画の立案 学習内容：事例を用いたケア計画の立案 セルフケア支援計画の展開 家族支援計画の展開 事前学修：教科書を用いて、セルフケア支援について復習しておく 事後学修：日常生活援助におけるセルフケア支援の意義についてまとめる 備考：久保野、佐藤
8	授業内容 学習形態：グループワーク 学習課題：日常生活援助のケア計画の立案 学習内容：事例を用いたケア計画の立案 セルフケア支援計画の展開 家族支援計画の展開 事前学修：日常生活援助における基礎看護技術について復習しておく 事後学修：グループワークで話し合った内容を整理し、分担された資料を作成し発表準備を行う 備考：久保野、佐藤
9	授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：事例の日常生活援助計画案 学習内容：日常生活援助計画の発表 事前学修：グループワークで話し合った内容を整理し、分担された資料を作成し発表準備を行っておく 事後学修：相互評価を通して得た学びを整理し、自グループの日常生活援助計画立案の強みと課題を明確にする 備考：久保野、佐藤
10	授業内容 授業形態：講義 学習課題：生活の場で実践する医療処置技術 学習内容：生活の場での安全な医療処置技術 事前学修：教科書を用いて、在宅で行われる主な医療処置の種類や目的・方法・留意点を調べておく。 事後学修：授業で学んだ医療処置技術の安全管理や家族指導のポイントを整理し、在宅支援における看護師の役割について自分の言葉でまとめる。
11	備考：関 授業内容 授業形態：演習 学習課題：生活の場での医療処置技術と家族への指導 学習内容：経管栄養法 事前学修：教科書を用いて、目的・手順・観察項目・注意点を予習しておく。 事後学修：在宅での安全な医療処置と家族指導の要点についてレポートにまとめる。 備考：関、佐藤、ゲストスピーカー
12	授業内容 授業形態：演習 学習課題：生活の場での医療処置技術と家族への指導 学習内容：在宅中心静脈栄養法 事前学修：教科書を用いて、目的・手順・観察項目・注意点を予習しておく。 事後学修：在宅での安全な医療処置と家族指導の要点についてレポートにまとめる。 備考：関、佐藤、ゲストスピーカー
13	授業内容 授業形態：講義 学習課題：生活の場での医療処置技術と家族への指導 学習内容：在宅酸素療法、NPPV 事前学修：教科書を用いて、目的・手順・観察項目・注意点を予習しておく。 事後学修：在宅での安全な医療処置と家族指導の要点についてレポートにまとめる。 備考：ゲストスピーカー

	14 授業内容 授業形態：講義 学習課題：在宅でのリスクマネジメント 学習内容：リスクの特徴、感染防止、災害時の備え 事前学修：教科書を用いて、在宅療養の場における主なリスクを調べておく。 事後学修：授業で学んだリスクマネジメントの内容を整理し、在宅療養者・家族・看護師それぞれの立場から取るべき安全対策をまとめる。 備考：関 15 授業内容 授業形態：講義 学習課題：在宅でのターミナルケア 学習内容：在宅ターミナルケアの実際 事前学修：教科書用いて、「ターミナルケア」「看取り」「緩和ケア」の基本的概念を確認しておく。 事後学修：ゲスト講師の講義内容を振り返り、在宅でのターミナルケアにおける看護師の役割・姿勢ついて、自分の考えをレポートにまとめる。 備考：ゲストスピーカー
評価方法、評価基準	到達目標1に対して看護計画立案・発表40%、到達目標2に対して日常生活援助計画・発表30%、到達目標3に対してレポート25%、到達目標4に対してレポート5%により評価する。
必携図書	河原加代子（2022）：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践，第6版，医学書院。
参考図書・資料等	参考図書は授業時に紹介する。資料等は、必要時に配布する。
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に事前連絡をする。 出席確認は、どこカレを使用する。出席が確認できない場合や20分以上の遅刻・途中退室は欠席とみなす。 資料は授業開始時に配付する。欠席した場合は、授業1週間後までに授業資料を取りにくること。
教員からのメッセージ	既習内容と統合し学習を進めて下さい。積極的な授業への参加を期待しています。
オフィスアワー	随時（メールで調整）